

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	林業における労働災害防止対策の充実事業		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	安全課		田中 正晴		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	安全・安心な職場づくりを推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号 労働安全衛生法第106条第1項		関係する計画、通知等	新成長戦略:「2020年までに労働災害を3割削減」 第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	林業においては、災害発生率が他の産業と比べて極めて高く、労働災害防止対策の一層の推進が必要であり、林業作業における労働災害防止のため、各種ガイドラインの周知及び作業現場における危険性の調査の普及・促進を図る。また、近年、各種の高性能林業機械が林業の作業現場に導入され、これに伴う災害も発生しているため、同機械に係る安全対策や安全教育について検討を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①間伐作業にかかる危険性の調査の普及・促進のため、個別指導の実施及び危険性の調査の標準モデルを作成する。 ②各種高性能林業機械に係る安全対策及び安全教育の検討を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	16	21	13			
	執行額	15	18	7				
	執行率(%)	91.8%	84.7%	52.1%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	危険性の調査の実施に係る個別指導の対象とした事業場において、労働災害防止対策の見直しを行い具体的な対策の改善措置を講じた事業場の割合を89%以上とする。		成果実績	%	89.0	89.0	90.9	-
			達成度	%	100.0%	100.0%	102.1%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	危険性の調査の実施に係る個別指導を行う(年間合計90事業場)		活動実績 (当初見込み)	事業場	100 (90)	100 (90)	100 (90)	- (-)
			算出根拠		円→平成22年度支出額(6,768,289円) 件→平成22年度アウトプット実績(100事業場) 本事業で作成したマニュアルについては、事業終了後も、労働基準監督署による事業場への指導等の際に活用している。また、厚生労働省ホームページに掲載し、事業者がダウンロードできるようにしている。			
単位当たりコスト	67,682(円/事業場) 本事業で作成したマニュアルについては、事業終了後も、労働基準監督署による事業場への指導等の際に活用している。また、厚生労働省ホームページに掲載し、事業者がダウンロードできるようにしている。							
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業実施に高度な専門性を要し、事業内容に関して、応募者において価格競争のための入札価格の見積もりを行えるに足る具体的なものを提示することが困難であることから企画競争による調達を行ったもの。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	点検結果は、事業は適切に運用されたと評価できる。林業における基本的な労働災害防止対策の定着としては一定の成果を得られたため、22年度で事業を廃止した。		
予算監視・効率化チームの所見			
	-		-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			-
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

林業における労働災害防止の充実事業

厚生労働省  
(7百万円(平成22年度精算額))

事業管理、受託者への指導



【企画競争】

林業・木材製造業労働災害防止協会  
(7百万円(平成22年度精算額))

間伐作業にかかる危険性の調査の普及・促進のための個別指導の実施、危険性の調査の標準モデルの作成、各種高性能林業機械に係る安全対策及び安全教育の検討

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A. 林業・木材製造業労働災害防止協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	委員会出席謝金、指導員謝金	3.7			
旅費	委員会出席旅費、指導員旅費	1.8			
庁費	印刷製本費、通信運搬費、消耗品費	1.0			
管理費	光熱水料	0.3			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	林業労働災害防止協会	事業概要のとおり	7		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					